

米国による戦争訓練である

沖縄駐留米軍の北富士移転実弾演習に反対する抗議声明文

一九九七年七月から「沖縄の痛み分かち合い」を口実に行われている本土移転実弾演習。しかし、それ以降「沖縄県民の痛み」は解消されるどころか様々に強まり、全国に「痛み」と「危険」が拡散・拡大・深化させられてきているのが実態である。

近年の北富士演習場においては、二〇一八年九月、使用協定にはない英国軍との共同訓練が実施されて以降、同年一〇月、翌年四月と、沖縄駐留米軍の実弾演習が行われた。そして今回の移転演習は、二年ぶり一七回目となる。

このように、度重なる移転演習は、演習場を抱えてきた地域住民の思いを無視するものであり、何より、演習場の果是である『全面返還・平和利用』そのための『段階的縮小』を明らかに踏みにじり、形骸化を進めるものである。

これまでの演習で行なわれてきた夜間野営訓練、NBC（核・生物・化学兵器）訓練、そして、有事法制定以前から先取りし、行なわれてきた自衛隊と民間輸送機関の動員、地元住民の立入り日を変更してまでの連続演習。

さらに、二〇一四年八月から行われているオスプレイの離着陸訓練では、使用管理規則違反の訓練が行われたことも判明するなど、回を重ねるごとに規模や内容が拡大され、危険な戦争訓練となってきた事は明らかである。

「平和の象徴」とも言われる世界文化遺産の富士山。その裾野で繰り返される実弾射撃演習は、「平和」とは遠くかけ離れ、春の訪れを感じに富士の麓を訪れる多数の観光客に、騒音など重大事故の危険をさらすものである。

我々、山梨護憲の集い実行委員会は、沖縄新基地建設や環境破壊の高江へりパッド建設に反対し、勤労者や国民の平和と民主主義、そして、国民生活の再建を進める立場からも、沖縄駐留米軍による危険な戦争訓練である、北富士移転実弾演習に強く反対し、抗議するものである。

二〇二二年 二月 三日

防衛省南関東防衛局 局長 小波 功 様

山梨護憲の集い実行委員会

代表委員

山 田

代表委員

手 塚

仁 厚



沖縄駐留米軍の北富士移転実弾演習反対！ 現地抗議集会

日時 2021年2月3日(水) 11:10
場所 北富士演習場・梨ヶ原廠舎入口ゲート前
主催 山梨護憲の集い実行委員会

次第 (11:10~11:30)

- | | | |
|------------|-----------------------------------|-------|
| ○司会者あいさつ | 山梨護憲の集い実行委員会事務局長
(社民党山梨県連合幹事長) | 深澤 高行 |
| ○開会のことば | 新社会党山梨県本部委員長 | 丸山 和彦 |
| ○主催者あいさつ | 代表委員・山梨県平和センター代表 | 手塚 仁 |
| | 代表委員・社民党山梨県連合代表 | 山田 厚 |
| ○抗議声明朗読・提出 | 自治労山梨県本部執行委員長 | 田中 好久 |
| ○シュプレヒコール | 山梨県平和センター事務局長
(山梨県教職員組合執行委員長) | 小串 吾郎 |
| ○閉会のことば | みどり・山梨代表 | 野澤今朝幸 |

